

事務局職員像

本学は、学園創立以来、教育理念である「実学教育」を志向して、建学の精神「愛あれ、知恵あれ、真実あれ」を一貫して堅持し、豊かな人間性・高い倫理性を基に、幅広い教養と高い専門的能力と技能を備えた有為な人材を地域社会へ輩出してきました。

近年、世界や地域を取り巻く環境が激しく変化し、青森地域においても、少子化が急速に進行する中で、時代の要請に応える有為な人材をこれからも育成し続けるためには、複雑化する課題にも対処できる職員の能力開発と組織力の向上が必要だと考えます。

よって、本学は建学の精神に基づいた明確な職員像をここに掲げます。

① 学生第一の最適解を見出し、実行できる職員

職員が、学生の充実した日々を支援するには、多くの選択肢から最適な答えを導き出し、積極的に実行に移さなければなりません。

そのために、様々な事象に対して、多角的な思考で情報を収集・分析し、主体的に解決策を計画・実行する職員を目指します。

② 信頼関係を構築し、協働できる職員

個々の職員が能力を発揮し、組織が大きな成果を収めるには、他者を尊重して信頼関係を構築し、あらゆる人と協力する必要があります。

そのために、思いやりの心を基礎として、自己と他者を理解することに努め、コミュニケーションを取りながら、協調して仕事ができる職員を目指します。

③ 学ぶ意欲を常に持ち、自己研鑽できる職員

本学が永続的に発展し続けるには、組織としての成長に加え、個人の成長も欠かせません。

そのために、社会人としての基本となるマナーをはじめ、幅広い知識と深い専門性を身に付け、常に向上心を持って学び続ける職員を目指します。

④ 自己を管理し、充実感を持って仕事ができる職員

職員が社会人として豊かな人生を送り、自己実現や長期的な目標を達成するには、組織的な取り組みとともに、セルフコントロールに努め、心の張りを保ちながら仕事ができることが大切です。

そのために、自らの感情や意欲・モチベーションをはじめ、時間や体調を管理できる職員を目指します。

このような職員像を体現し、学生の模範となる、プロフェッショナルな職員を共に目指しましょう。